

「韓国日本語教育」

国際交流基金日本語国際センター専任講師

三原龍志 Ryushi_Mihara@jpf.go.jp

1. キーワード

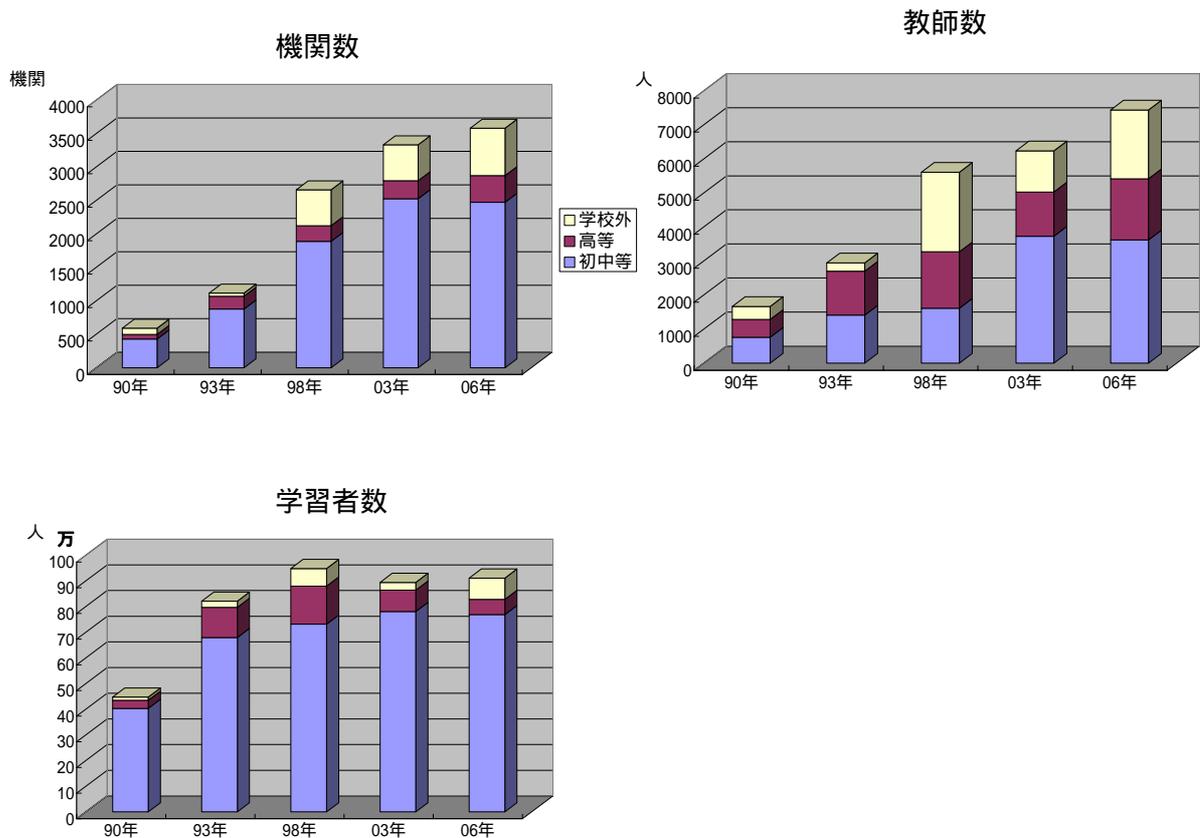
隣国関係 教育課程 地域別中等日本語教師会 ネットワーク支援

2. 概況

(1) 2006年の機関数・教師数・学習者数

機関種別	機関数	教師数	学習者数
初・中等教育	2,473	3,619	769,034
高等教育	398	1,793	58,727
学校教育以外	708	2,020	83,196
合計	3,579	7,432	910,957

(2) 1990年～2006年の機関数・教師数・学習者数の変化





3. 日本語教育を支える（支えてきた）もの

- ・長きに亘り隣国として経済・歴史・文化など密接な関係にあること
- ・日本文化開放政策による日本のポップカルチャーの影響

たとえば、2006年韓国で刊行された「マンガ・コミック」は7,486点で、うち日本製の翻訳物は35.6%（2,668点）。これは、翻訳刊行された日本書籍全体の61.7%に当たる。

- ・日本語学習に対する心理的障害の低さ（学習しやすいというイメージ）

4. 日本語教育の発展

<年表>

韓国の日本語教育の沿革	国際交流基金のかかわり
1961年 韓国外語大学校に日本語科開設 1962年 国際大学校（現在の西京大学校）日本語科開設 （1965年 日韓外交正常化）	（1968年 釜山日本国総領事館日本語講座開講。） <u>1972年 国際交流基金設立</u>
1972年 7月に行われた月例経済動向報告の場で、朴正熙大統領が「対日門戸開放政策」の一環として日本語を高等学校の第2外国語の1つに加えるよう指示。2年制大学への観光科設置を機に、日本語関連専攻学科の開設に弾み。73年～85年までの間に日本語関連科目を開設した高等教育機関は49機関に上る	
1973年 韓国日本学会設立。国立慶尚大学校師範大学（教育学部）に日本語教育科開設。高等学校において第2外国語が必修化。日本語を第2外国必修選択科目として採用（全国942校中137校が選択）	1975年 国際交流基金日本語教育専門家派遣（啓明大学・誠信女子師範大学）
1976年 「大学入学予備考査」の外国語選択科目に日本語が加わる	
1982年 国立慶尚大学校師範大学が、教育部より中等教育機関所属の日本語教師を対象とした中等1級正教師資格研修実施機関の指定を受ける	1977年 国際交流基金日本語教育専門家派遣（在ソウル日本大使館公報文化院・在釜山日本国総領事館） 1985年 国際交流基金日本語能力試験実施。 1987年 在ソウル日本大使館公報文化院において、日本語教育研究班：高校教師班（高校教師対象教師研修）を実施（国際交流基金ソウル日本文化センター開設後は同センターにて実施） 1980年代前後～90年代 国際交流基金が中等1級正教師資格（日本語）研修へ講師派遣。 1989年 国際交流基金日本語国際センター開設。教師研修への参加。 <u>1993年 日本語国際センターにて「大韓民国高等学校日本語教師研修」（2ヶ月）開始。</u> 1993年 在ソウル日本大使館公報文化院にお



<p>1994年 「大学入学考査」を「大学修学能力試験」に改め、第2外国語科目を除外。</p> <p>1996年 ソウル日本語教育研究会が夏季・冬季の自律研修を開始。</p> <p>2000年 大学修学能力試験に第2外国語が復活。</p> <p>2001年 2001年度日本語教師特別養成研修(ソウル大学・教員大学)実施。2001年度中学校において第7次教育課程施行。</p> <p>2002年 中学校において日本語教育開始(2学年時から開講されるため)。 同年 2002年度日本語教師特別養成研修(ソウル大学・教員大学)実施。 同年 2002年度高等学校において第7次教育課程施行。</p> <p>2003年 韓国日本学連合会第1回学術大会開催。 同年 韓国日本語教育研究会(中等日本語教師会の上位全国組織)発足。</p> <p>2007年 「新教育課程」教育人的資源部が告示。</p>	<p>いて、「地方高校日本語教師支援プログラム」実施(国際交流基金ソウル日本文化センター開設後は同センターにて実施)。</p> <p>1995年 在ソウル日本大使館公報文化院において、高校日本語教師集中研修(夏季・冬季集中研修)を実施(国際交流基金ソウル日本文化センター開設後は同センターにて実施)。</p> <p><u>2001年(日本語国際センター)2002年(関西国際センター)「大韓民国日本語教師特別養成課程訪日研修」(153名)実施。</u></p> <p>2002年 国際交流基金ソウル日本文化センター設立。在ソウル日本大使館公報文化院で実施していた日本語関連事業を移管(同文化院派遣日本語教育専門家ポストも同センターへ移管)。</p> <p><u>2003年「大韓民国高等学校日本語教師研修」(日本語国際センター)を2ヶ月から1ヶ月に短縮、人数を45名から50名に増加。</u></p> <p><u>2007年「大韓民国中等日本語教師研修」(日本語国際センター)と改称し、中学校教師14名、高等学校教師42名計56名が参加。</u></p>
--	---

* 下線は、日本において実施の事項

(1) 発展の特徴

- ・ 第7次教育課程の施行により、それまで英語科目に沿って作成されていた教育課程の内容が日本語科目独自となり、学習者中心、コミュニケーション機能重視、異文化理解などが盛り込まれる。また中学校段階で日本語が必修選択科目の1科目として加わる。
- ・ 地域の多くの中等日本語教師会が、1980年代後半から1990年代にかけて発足し2003年にはその上位組織である韓国日本語教育研究会が発足。会員間の情報交換や研修の機会が提供されるようになる。
- ・ 国際交流基金日本語国際センター実施「夏期日本語教師短期研修」に参加していた韓国高等学校日本語教師を1993年より「大韓民国高等学校日本語教師研修」として独立した研修として開始。教育課程に沿った授業の実現を考慮した研修内容を提供している。

(2) 国際交流基金ソウル日本文化センターの役割

- ・ 中等日本語教師研修実施主催者
- ・ 各学会、地域の中等日本語教師会への協力機関

- ・ 一般人への日本語・日本文化学習支援機関
- * 日本語支援事業の概要は別添資料2のとおりである。

5. まとめ

(1) 中等日本語教師支援

- ・ 中等日本語教師対象の研修機会のさらなる拡大
- ・ 中等日本語教師の多様なネットワークの充実

(2) 第2 外国語としての日本語の役割

- ・ 学習したコミュニケーション能力、異文化理解能力の使用場面の確保

6. 参考文献

<参考文献>

- 李徳奉(2004)「韓国の新学習指導要領に見る日本語教育の新しい動き」『世界の日本語教育』日本語教育事情報告編 第7号 国際交流基金日本語国際センター
- 李徳奉(2007)「韓国の日本語教育における文化・連結・コミュニティ」『日本語教育』133号 日本語教育学会
- 櫻坂英子編著(2007)『韓国における日本語教育』三元社
- 金英美(2006)「韓国における日本語教育政策 - 高校での日本語教育開設当時の日本語教師の確保について - 」『言語教育研究』拓殖大学大学院言語研究科
- 金連基(2003)「韓国における日本語教育活動の概要」『海外における日本語教育活動の概況 - 現職者研修活動および学校外教育活動を中心にして《追補版》』社団法人日本語教育学会調査研究委員会
- 国際交流基金日本語国際センター(2001)「第6回海外日本語教育研究会 韓国の高校における日本語教育」資料
- 朴且煥(2003)「韓国における日本語教師現職者研修の概況」『海外における日本語教育活動の概況 - 現職者研修活動および学校外教育活動を中心にして』社団法人日本語教育学会調査研究委員会
- 森脇喜一(2003)「九州地域における国際化教育への提言 日韓両国の高等学校における相手国言語教育の比較と課題」『東アジア研究』第6号 東アジア学会
- 森山新(2001)「韓国における日本語教育と教員養成」『言語文化と日本語教育』第21号 お茶の水女子大学日本言語文化研究会
- 森山新(2001)「韓国の大学入試への日本語科目の導入とその影響」同上 第22号



資料1

著作権保護のためここでは割愛

資料2

日本語教育支援事業概要

<日本>

<韓国(ソウル)>

日本語能力試験(JLPT)の実施

日本語教師のための「みんなの教材サイト」(韓国語版)

インターネット日本語しけん「すしテスト」(韓国語のインストラクションあり)

一般日本語講座：9コース

コッスルター「カチの声」：年3回

学会・研究会等による
教材・資料制作、カリキュ
ラム開発、
セミナー開催等に対する経
費および人的支援(小規模)

日本語教師サロン(全8回)

学期中研修(水曜日)
・中学校教師教授法コース
・高校教師教授法コース

夏季・冬季中等日本語教師集中
研修、HP掲載

地方中等日本語教師会セミナー

外部機関主催中等教師対象研
修への協力

HP連載記事

「チーム・ティーチング事例
集」配布、HP掲載

在韓日本語ネイティブ留学生
訪問ボランティア

各種コンサルティング

視察・聞き取り調査

日本語教育機関調査の実施

事業方針

中等教育段階の日本語教育の支援

教師重点支援による日本語教育の質の向上

一般・高等教育段階

中等教育機関

調査・研究